

## 事業実績報告書

様式 2  
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-05	講座名	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座
記載日	2023/3/29	団体名・企業名	東邦ガス株式会社

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

1回目 ガスエネルギー館での座学と、ビオトープ広場での生き物観察を通じて、生物多様性等について学んでいただく親子環境講座。会場参加は6家族14名、リモート参加は4家族8名。  
座学では動画視聴によりビオトープ・生物多様性について学習。その後、屋外体験学習として実際にビオトープに入って生き物観察を実施した。更に、オプション企画として(一社)ビオトープネットワーク中部の宇野副会長によるクワガタムシの説明と、参加者プレゼントを実施。  
なお、コロナ禍であるため感染対策を講じて開催。会場参加者はご家族以外の方との離隔距離の確保をはじめとした対策を実施したほか、リモート参加もできるようにした。

2回目 毎日の料理を、もっと「エコに」するヒントを学び、お子さまと一緒に料理に挑戦しながら、地球温暖化対策や資源循環等の環境保全について学んでいただく講座。メインの栄会場は15名、サテライトの刈谷会場は5名、LIVE配信によるリモート参加は10名、計30名に参加いただいた。なお、コロナ禍であるため感染対策を講じて開催。会場参加者は、調理台1台につき1家族に限定し、ご家族以外の方との離隔距離の確保をはじめとした対策を実施。また、より多くの方に参加いただけるよう、初の試みとしてサテライト会場を設けるとともに、LIVE配信によるリモート受講を同時開催した。



#### ※写真1の説明

7月26日 ガスエネルギー館ビオトープ広場にて、「がさがさ」を体験

#### ※写真2の説明

2022年7月29日 東邦ガス栄クッキングスタジオにて、講師の説明を熱心に聞く参加者

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

1回目 生物多様性について、座学による知識習得だけではなく、ビオトープに入り、ヤゴの捕獲体験と生き物観察・分類を取り入れることで、知識と体験を結びつけて理解促進を図っている。今年度は、コロナ禍での開催であったため、家族間の離隔距離を確保し、リモート参加を可能とするなど配慮を要した。参加者アンケートから、体験によって多く感じ取っていただけたこと、再び参加したいとの声をいただき、本講座を開催できたことに意義を感じた。

2回目 コロナ禍をふまえた初の試みとして、メイン会場・サテライト会場、LIVE配信で同時に講座を開催した。参加者から、「楽しく参加できた」「エコ・クッキングについて初めて考える機会ができた」というお声をいただき、食を通じてエコを考えるコミュニケーションのツールにもなると感じている。エコ・クッキングは、一人一人の活動は小さくても、多くの方が日々取り組むことで、大きな一歩になる。2023年度も開催予定であり、ぜひ多くの方にご参加いただき、環境活動への一歩にしていいただければ幸いです。

### 〈受講者の声(美感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

(子供)

- ・虫がかわいいのもありました。生きものを探るのが楽しかった。
- ・にさんかたんそをへらそうと思いました。

(保護者)

- ・ヤゴに触れるのが初めてだったので良かった。体験できた事が、子供の為になった。
- ・池の中に生息するものを見る機会がなかなかない中、今日はとても良い体験ができました。
- ・自然に近いビオトープで自然保全を推進されている企業努力が素晴らしい。子どもがとても喜んでいて、また、参加したい。

エコについて改めて気づけることがたくさんあり、家でもできることがたくさんあった。

- ・今日のエコ・クッキングは機会があればまたやりたい。
- ・アシスタントさんがたくさんいらっしゃって、子供たちがしっかりと講座に取り組めた。
- ・サテライト会場は調理している様子がしっかり見えて、声もしっかり聞こえて良かった。